























業種別景況予測

2024年10月～12月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部 会	7～9月 (実績)	10～12月 (見通し)	概 況			
寝 装 リ ピ ン グ			「コスト以上に手間や人手がかかる製品が増えている。これまで以上に量より質が求められている。(毛布製造業)」「先先行きの予想が全く不透明で困惑している。(織物業)」「取引先の廃業や生産量の低下で売上は低迷している。(整経業)」など、先先行き不透明とのコメントが寄せられた。			
織 維 フ ャ ッ シ ョ ン			「猛暑が続くためか、衣類などの新規販売の見通しがつかない。(捺染加工業)」「猛暑の影響で長い夏と短い冬で2シーズンになっている。(ニット卸売業)」「残暑、暖冬により秋冬物厳しい。(婦人服製造業)」「繊維業界は非常に悪い。実質賃金の低下や、長引く夏の影響で、秋冬物商戦の時期が遅れていることが原因。(染色整理業)」とのコメントが寄せられた。			
工 業			「資材等値上がりしており、製品価格の値上げを各社実施している。(鉄鋼業)」「建設機械、産業用機械等が依然として低調な推移となっている。全体的には厳しい状況が続くと思われる。(工業用部品製造業)」「外注費、資材費が高い。受注済案件も外注業者と単価が折り合わず、赤字対応。(機械器具設置修理業)」とのコメントが寄せられた。			
建 設			「建て替えコストの上昇と職人の不足が続いている。(建設業)」「受注は増加傾向。人手不足や原材料仕入価格の上昇により、利益には結びつかない。(塗装業)」「人手不足が続いている。(警備業)」など、売上は良好であるものの、人手不足に対するコメントが多く寄せられた。			
運 輸 倉 庫			「商品動向が低調。(倉庫業)」「物価や金利の上昇に伴い、中小企業の業績は低迷している。来年度は更に悪くなるのでは。(運送業)」「倒産・廃業の同業者が増えた。(運送業)」とのコメントが寄せられた。			
金 融 理 財			「高齢化社会のため、遺言公正証書の依頼が多い。(士業)」「動きが鈍く、家賃値下げの要望が多い。(不動産賃貸業)」「保険料の値上げにより、保険金を引き下げたり解約が増えてきている。(保険代理店)」「売上には大きな変化がないが、経費の増加で利益は減少。(士業)」などのコメントが寄せられた。			
一 般 商 業			「メーカーや問屋の廃業が多く、仕入に困っている。(小物販売)」「天候に左右されやすい商材の取扱いが多く、仕入価格が上がって、利益が下がっている。(青果物販売)」「仕入価格が上ってきているが、今のところ値上は難しい。少しずつ値上は考えていきたい。(菓子製造販売)」など、仕入れ価格上昇に対するコメントが寄せられた。			
サービ 商 業			「値上げで少しは利益が出るようになってきた。(飲食業)」「コロナの悪影響がまだ残り、人材難・最賃見直し、物価高による運営コスト増などにより安定運営が難しい。(介護施設業)」「ホテル代・バス代が高騰。(旅行幹旋業)」「仕入価格・人件費・光熱費の上昇で対応が追いつかない。(飲食業)」などのコメントが寄せられた。			

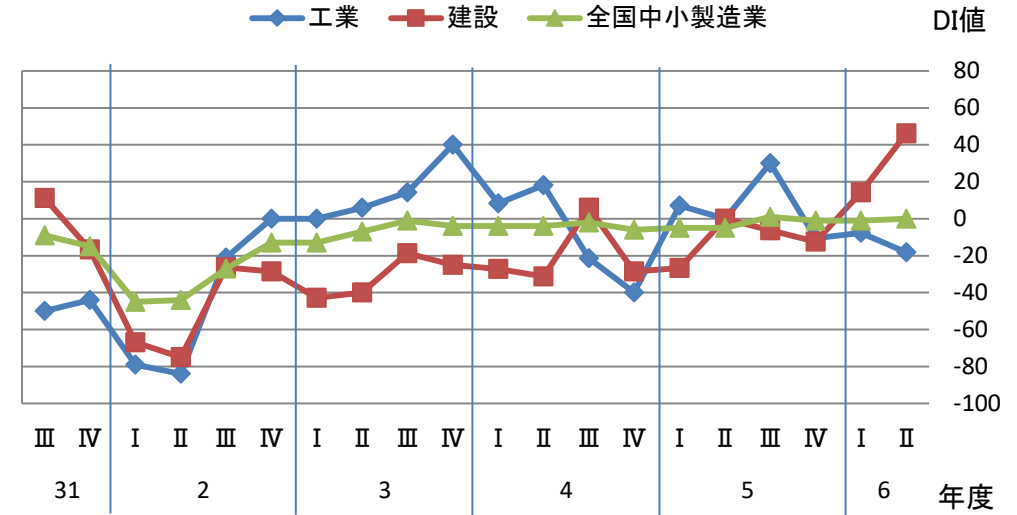
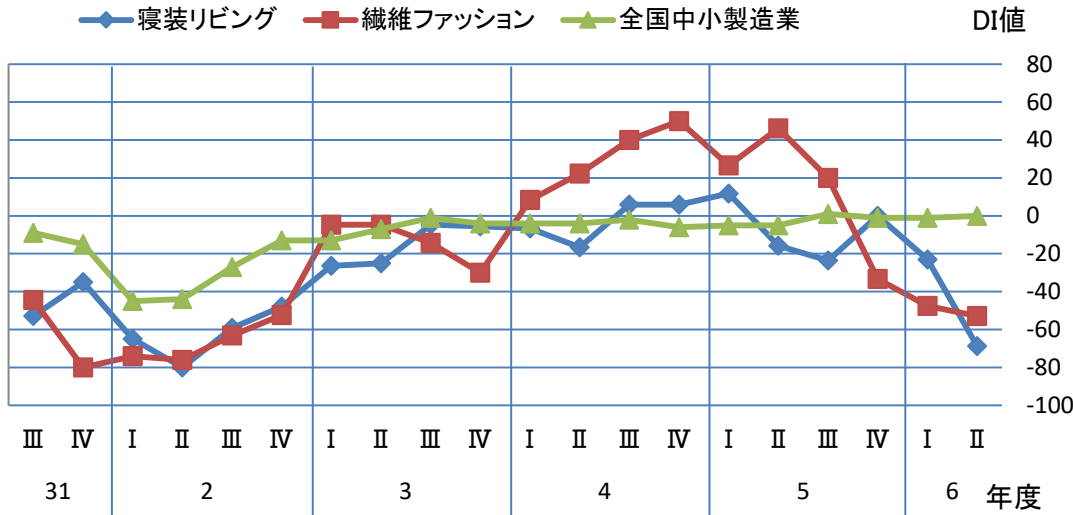
(調査概要) ●調査実施 令和6年10月 ●調査対象企業 285社 ●回答数 131社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にいただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111

前年同期と比較

泉大津の全産業のDI値は前年同期に比べやや悪化。業種別にみると、建設業については改善、運輸倉庫業・金融理財業は横ばい、サービス商業はやや悪化、工業は悪化、寝装リビング業・繊維ファッション業・一般商業はきわめて悪化となったが、個別差がある。(表面実績欄参照)

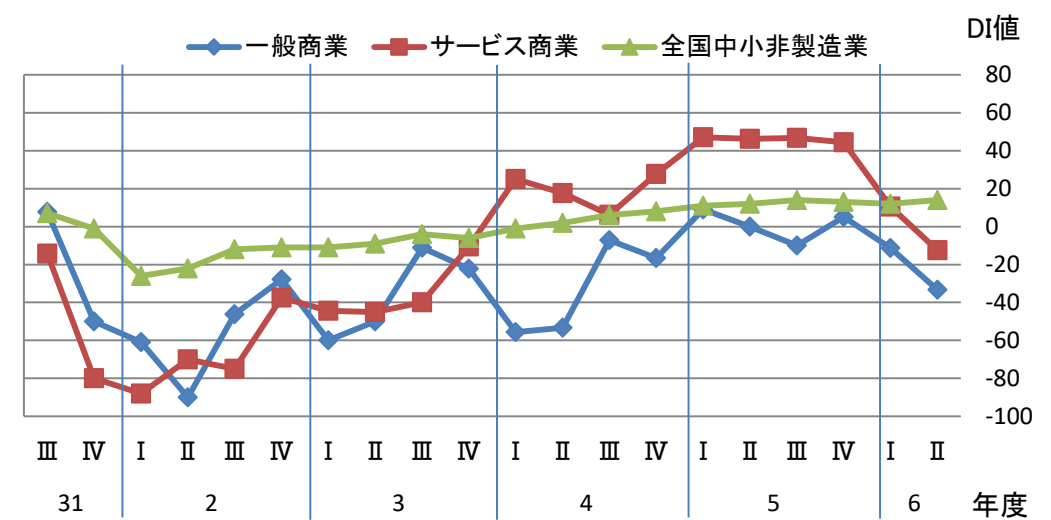
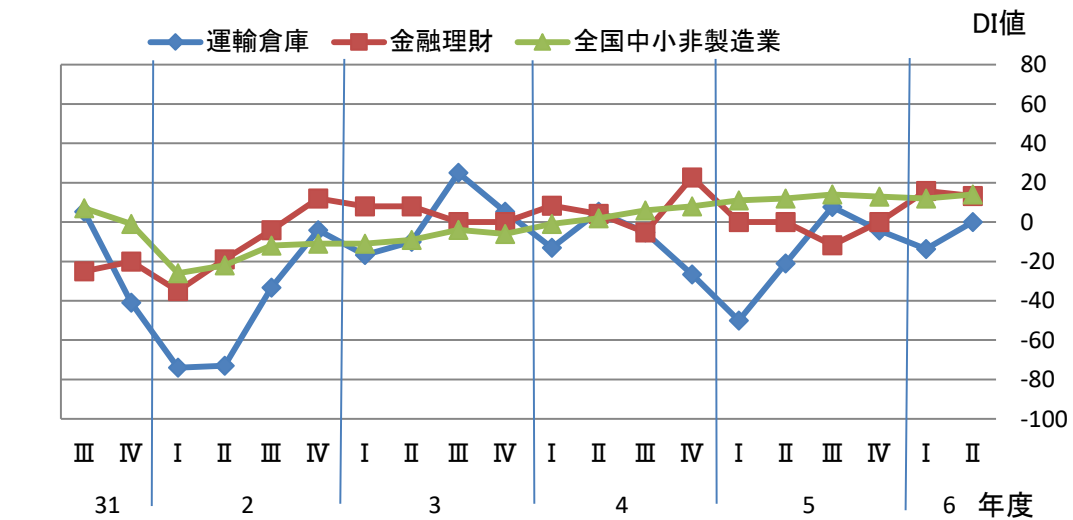


前年同期と比較

売上高について、繊維ファッション業は減少傾向、寝装リビング業は大幅に減少となり、何れも、猛暑の影響により製品の動きが鈍く、生産が減少となっている。

前年同期と比較

売上高について、建設業は改善されながらも人手不足が問題。工業は悪化傾向。仕入価格・加工単価の上昇が止まらず、収益が減少となった。



前年同期と比較

売上については、両業種とも横ばいだが、経費の増加で利益は減少傾向。運送業については、倒産・廃業の同業者が増えている様子。

前年同期と比較

売上については、両業種とも悪化傾向。仕入れ価格が大きく上昇していることで、収益は悪化傾向にある。

※DI値: 売上状況の回答 (増加-減少=DI値)

※R2.3 新型コロナウイルス感染症拡大

I = 第一四半期 (4~6月)

II = 第二四半期 (7~9月)

III = 第三四半期 (10~12月)

IV = 第四四半期 (翌年1~3月)

⑨ 全国中小製造業・非製造業は前期と比較しています。